

令和7年1月23日



独立行政法人都市再生機構
東日本賃貸住宅本部
北総鉄道株式会社

株式会社千葉ニュータウンセンター

住んでみたい・住み続けたいまち千葉ニュータウン

実現に向けて、UR都市機構、北総鉄道、

千葉ニュータウンセンターの三者で連携を開始

地域関係者との連携推進、流入促進、沿線価値体験機会の創出に向けた取り組みを実施！

～PR冊子「るるぶ千葉ニュータウン」発刊、1日乗車券プレゼントなども～

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）、北総鉄道株式会社（以下「北総鉄道」という。）、株式会社千葉ニュータウンセンター（以下「千葉ニュータウンセンター」という。）は、住んでみたい・住み続けたいまち千葉ニュータウンの実現を目指し、三者での連携を開始します。

具体的には、住宅・鉄道・商業が互いの強みを活かしつつ一体となって地域関係者と連携し、千葉ニュータウンの魅力向上（リブランディング）や積極的な定住促進の推進に向け、以下の取り組みを推進します。

1) 地域関係者との連携を通じたエリア価値向上

- ①地域関係者の魅力取りまとめ・発信
- ②地域関係者と連携した三者でのイベントによる沿線住民への体験機会の提供

2) 千葉ニュータウンへの流入促進

- ①住宅・鉄道・商業が連携したコラボ企画の実施

→詳細は次ページへ



三者で連携を開始するUR都市機構、北総鉄道、千葉ニュータウンセンター
(左から、北総鉄道 会長 室谷 正裕、社長 持永 秀毅、UR都市機構東日本賃貸住宅本部
東京・千葉・神奈川地域本部長 酒井 弘、千葉ニュータウンセンター 社長 山澤 正)

【地域関係者との連携を通じたエリア価値向上】

①地域関係者の魅力取りまとめ・発信

千葉の FM ラジオ局「BAYFM」や、PR 冊子「るるぶ千葉ニュータウン」を通じ、地域の魅力を取りまとめ、三者で連携して情報を発信します。

《BAYFM》

「miracle!!」の新コーナー「千葉ニュータウン あそぶ！つくる！たのしさひろがる！ニュータウン ニューワールド」にて、時代のニーズに合わせて開発が進む「千葉ニュータウン」の魅力を発信中。

■放送期間：放送中～令和7年2月26日

■放送日時：毎週水曜 11時40分～11時50分



《るるぶ千葉ニュータウン》

■発刊日：令和7年2月7日発刊（予定）

■発行部数：6万部

■配布箇所：UR賃貸ショップや北総線各駅、東京都内一部の駅、千葉ニュータウンセンター商業施設等で配布予定

■誌面内容：自然と都市が融合した総合的な都市で、さらに魅力的な大型ショッピングセンターが数多く揃うとともに、自治体のサポート体制など子育て環境も充実している「千葉ニュータウン」の住みやすさ・暮らしやすさを紹介します。



②地域関係者と連携した体験機会の提供

三者で連携し、地域関係者との連携機会を拡大します。

《三者連携イベントの開催》

・令和7年2月16日開催 千葉ニュータウンわくわく発見フェスタ in 牧の原モア

《各社イベントでの相互連携》

・4月 ほくそう春まつり

・4月 「TAKABANABASE」イベント

Coming Soon…



【千葉ニュータウンへの流入促進】

①住宅・鉄道・商業が連携したコラボ企画の実施

住宅・鉄道・商業の三者が連携し、千葉ニュータウンでの暮らしを楽しんでいただくため、UR賃貸住宅への新規契約者を対象としたコラボ企画を実施します。

《コラボ企画の実施》

■対象者：令和7年2月1日～令和7年4月30日までの期間中、対象のUR賃貸住宅を契約された方

■対象住宅：A) 次の特典①②③④⑤のすべてが対象

・・・千葉ニュータウン高花

※一部対象外住戸があります

B) 次の特典③④⑤が対象

・・・千葉ニュータウン内のUR賃貸住宅

※一部対象外住戸があります

■コラボ特典：【特典①】「千葉ニュータウン高花」の1か月フリーレント

【特典②】「高花」エリアでの暮らしをさらに楽しむグッズのプレゼント

【特典③】北総鉄道の1日乗車券（引換券）のプレゼント

【特典④】北総鉄道印旛車両基地（千葉県印西市）見学イベントへのご招待

【特典⑤】商業施設「アルカサル」商品券のプレゼント

■留意事項：特典には数に限りがあり、先着順です。

※特典対象の住戸については、UR賃貸ショップにてご確認ください

取り組みの背景・目的：

千葉ニュータウンはまちびらきから 40 年が経過し、街の成熟とともに立地特性を活かした様々な地域企業やプレイヤー（以下「地域関係者」という。）が活躍され始めています。

ここで、UR 都市機構、北総鉄道、千葉ニュータウンセンターの三者は、まちびらきからの関与に加え、暮らしに直結したインフラ（住宅・鉄道・商業施設）を有し、かつ、これまでも個々に地域関係者と連携しイベントなどを展開してきました。

今般三者は、あらためてエリア内の沿線価値に注目し、互いの強みを活かしつつ一体となって地域関係者と連携し、千葉ニュータウンの魅力向上（リブランディング）や積極的な定住促進を推進することといたしました。

今後、三者で連携し、地域の体験機会創出を通じた千葉ニュータウンらしいライフスタイルの提案に取り組みます。第一弾として、BAYFM やるるぶと連動した初回イベントを 2 月 16 日に牧の原モア（千葉県印西市）で開催します。

（参考：三者の取り組み概要等）

UR 都市機構は、千葉ニュータウンの造成に昭和 53 年に着手するとともに、同ニュータウン内に全 15 団地の UR 賃貸住宅を整備しました。現在は、全国の UR 賃貸住宅における、地域のコミュニティ形成や賑わい創出に向けた地域一体のまちづくりの実績およびノウハウを活用し、UR 賃貸住宅「千葉ニュータウン高花」における「TAKABANABASE」を軸に、地域関係者等との連携を通じた魅力向上に取り組んでおります。

北総鉄道は地域のインフラとして、利便性の向上に資するよう運賃改定を実施しました。特に、家計への負担の大きい通学定期運賃について、大幅な値下げを行うことにより、子育て世代や若い世代の入居を促進してきました。

千葉ニュータウンセンターは、千葉ニュータウンならびに周辺のみなさまの生活・居住環境の維持・向上を目的に、平成元年に設立されました。「牧の原モア」・「アルカサル」をはじめとした商業施設等の管理運営やイベント開催を行うほか、熱供給事業を展開する地域に根差した会社です。

お問合せ先：

○UR 都市機構 東日本賃貸住宅本部

千葉エリア経営部ストック活用企画課団地マネージャー班 （電話）043-296-7298

○北総鉄道株式会社

企画室 小西、林 （電話）047-445-1902

○株式会社千葉ニュータウンセンター

営業推進部 小林（電話）0476-46-5935